

防災よこすか

第77号



写真提供 YOKOSUKA MEDIA LIBRARY

「 浦賀レンガドック 」

1899(明治32)年の竣工以来1世紀にわたって約1,000隻にのぼる艦船等の製造・修理を行ってきたレンガ造りのドライドックです。

煉瓦造りのドライドックは、日本に2基しかなく大変貴重な産業遺産であり、ドック内に海水が入っていない状態でみられる国内唯一のドックです。



会長あいさつ

横須賀危険物安全協会

会長 大庭 大

会員の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと存じます。

日頃から協会活動に対し御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、危険物に起因する火災及び事故等の発生件数は、全国的に高い水準で推移しています。危険物災害は、ひとたび発生しますと人命にかかわる大災害につながる可能性が非常に高いため、普段から危険物に対する安全管理体制を構築することが大切です。

幸いにも横須賀市では、危険物に関する大きな火災及び事故等は発生しておりません。これもひとえに、会員事業所をはじめとする関係各位の努力の賜物であると存じます。

石油業界をはじめとして、私たちのような危険物を取り扱う事業者を取り巻く環境は、技術革新やエネルギー資源の多様化により、急速な変化を遂げております。皆様の事業所におかれましても、地球環境への配慮や再生可能エネルギーの拡大という新たな課題に直面しつつ、持続可能な社会の実現に向け、とどまることなく努力を重ねておられることと思います。そのような状況の中、危険物を取り扱う私たちには、常に安全性を最優先とし、時代の変化に応じた柔軟な対応と戦略が求められています。

昨今、南海トラフ地震の発生が近い将来に予想されており、地域の防災対策をさらに強化する必要性が増しており、様々な災害に迅速かつ的確に対応できる仕組みの構築が今後の課題になると考えています。情報の収集と共有を充実させ、関係機関との連携を強化し、常に最新の防災知識に基づいて行動することが必要です。会員事業所どうしの連携はもちろん、地域社会とも協力し、防災力を向上させることが、我々のような地域で活動する事業者としての重要な使命と考えております。

結びになりますが、会員の皆様、ご家族の益々の御繁栄と御健勝を心から御祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

《 地 域 貢 献 活 動 》

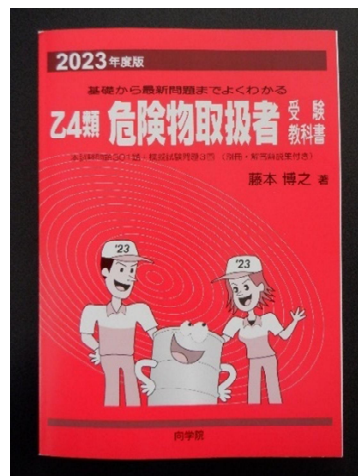
久里浜少年院へ危険物取扱者試験テキストを寄贈

地域貢献活動の一環として、令和6年4月18日(木)、久里浜少年院において、危険物取扱者の資格取得を目指す少年たちにテキストを10冊寄贈しました。

このテキストは、久里浜少年院が横須賀市消防局職員を講師として行う「受験対策講習会」で使用されました。



(写真左)久里浜少年院 大熊院長
(写真右)大庭会長



寄贈品

《 第 59 回 総 会 》

会場：セントラルホテル

令和6年5月8日(水)、セントラルホテルにおいて、第59回総会を開催しました。以下の議案について審議が行われ、原案のとおり可決されました。

- 第一号議案 令和5年度事業経過報告
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告
- 第三号議案 役員の改選について
- 第四号議案 令和6年度事業計画(案)
- 第五号議案 令和6年度収支予算(案)



《 火 災 予 防 啓 発 活 動 》

市内の小学3年生へ防火・防災クリアファイルを寄贈

令和6年5月15日(水)、横須賀市役所において、火災や地震の際にとるべき行動を掲載したクリアファイル3,000枚を横須賀市教育委員会に寄贈しました。

クリアファイルは、市内の小学3年生を対象とした「防火教室」で活用されました。



クリアファイルデザイン



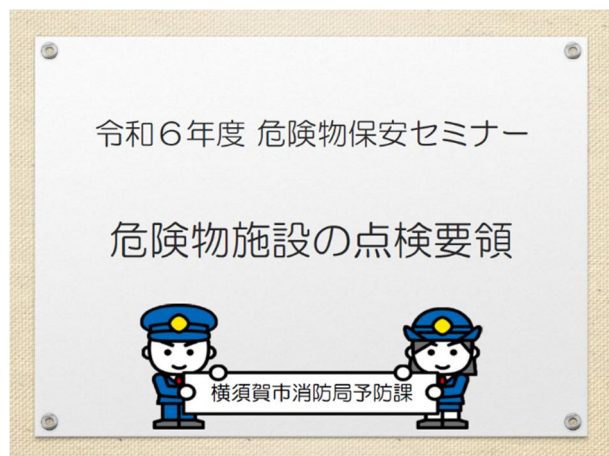
(写真左)新倉教育長
(写真右)大庭会長

《 危 険 物 安 全 週 間 》

令和6年度危険物安全週間推進標語「次世代へ つなごう無事故と 青い地球」

令和6年6月2日(日)から6月8日(土)まで全国一斉に「危険物安全週間」が実施されました。

当協会では、6月7日(金)にヴェルクよこすか(及びオンライン)で「危険物保安セミナー」を開催し、横須賀市消防局予防課員から「危険物施設の点検要領」、「給油取扱所に係る法令改正等」について講義を受けました。会員事業所では、施設の自主点検、保安教育、地震・津波対策の確認、消防訓練等の取り組みを行いました。



危険物保安セミナー講義資料

《 (一社)神奈川県危険物安全協会連合会表彰式 》

令和6年6月14日(金)、横浜市中区の「神奈川県立かながわ労働プラザ」において、一般社団法人神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰等の表彰式が開催されました。当協会の皆様が、次のとおり表彰されました。

- 関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰 諸設備の充実と安全管理功労
 - ・生化学工業株式会社 久里浜工場 様 (南ブロック)
- (一社)神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰 優良危険物事業所
 - ・京浜ドック株式会社 追浜工場 様 (北ブロック)
 - ・株式会社下浦石油 様 (南ブロック)
- (一社)神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰 優良事業所
 - ・学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校 様 (中央ブロック)
 - ・株式会社平和商会 様 (南ブロック)



○写真左から

- ・生化学工業株式会社 久里浜工場 様(倉橋 康博 様)
- ・京浜ドック株式会社 追浜工場 様(小澤 敏也 様)
- ・横須賀危険物安全協会 大庭会長
- ・株式会社下浦石油 様(高橋 哲也 様)
- ・学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校 様(齋藤 誠治 様)

《 (一社)神奈川県危険物安全協会連合会表彰式 》



株式会社平和商会 様(佐藤 竜也 様)

《 第1回・第2回救急講習会 》

会場：ヴェルクよこすか

地域貢献事業の一環として、ヴェルクよこすかで救急講習会を2回にわたり開催しました。

第1回目は、令和6年9月3日(火)、「普通救命講習会」を開催しました。目の前で突然倒れた方の命を救うため、心肺蘇生法と AED の使用方法等を学びました。

第2回目は、12月2日(月)、「外傷救護法講習会」を開催しました。交通事故や労働災害を想定した負傷者に対する「止血法」や「首の固定法」など、外傷救護活動に必要な不可欠な手当てを学びました。



第 1 回救急講習会



第2回救急講習会

《 視 察 研 修 》

令和6年10月24日(木)、視察研修を実施しました。「東京湾アクアライン 裏側探検」及び「はちみつミードのはちみつ工房」の視察を行いました。24名の皆様にご参加いただきました。

視察研修記

東光商事株式会社
上林 恵実

10月24日に参加いたしました視察研修の感想をまとめたく思います。

初めに、東京湾アクアライン裏側探検に参加いたしました。私の中でずっと気になっていた、海の中にどうやって道路を作ったのか。この謎が解けてすっきりしました。

アクアラインを通行する際、そこまで気にしていませんでしたが、災害や緊急事態が起きた時の為に、緊急車両専用道路・消火栓・避難用滑り台といった設備が確保されていたことに驚きました。これらの設備は、沢山の方の知恵や努力が絞り出されてつくられており、長い年月を経ても安全にアクアラインを通行できることは素晴らしく、私たちの安全が守られていることを実感いたしました。

次に行ったはちみつ工房では、沢山の種類の味あるはちみつを味わうことができました。

はちみつを使ったお酒やお菓子など、おいしいものもたくさんありました。はちみつを使ったお酒は飲んだことがなかったのですが、まろやかで口当たりがよく美味しかったです。お店の外には、アイスクリームも売っており、はちみつとアイスの組み合わせは最高においしかったです。

房総四季の蔵ではお土産などを購入し、最後はお食事へ。

味蔵・宝家では、どのお食事も魅力的でおいしかったのですが、私の中で印象に残ったのはあさりごはんです。お出汁が効いており、あさりの香りがよく、お味噌汁にとっても合い、ほっこりいたしました。また、お食事をいただきながら、様々な職業の方と色々なお話ができました。勉強になること、吸収することが沢山ある充実した日を過ごさせていただきました。

行きのバスでお話いただいた火事等の事故は、1人1人の意識が大きな火事等の事故を防げるため、より一層気をつけて過ごしていきたいと感じました。

最後になりますが一日を通して、何をするにもたくさんの方の協力があり、たくさんの方の知恵と時間があってつくられていること、人の支えなしにできないことが世の中にはたくさんあること、沢山の方とつながれたこと、人と人とのつながりの素晴らしさを改めて実感した日をすごせました。本当にありがとうございました。皆様の益々のご健勝を心よりお祈りいたします。



東京湾アクアライン
裏側探検

《 秋季火災予防運動 》

2024年度全国統一防火標語「守りたい 未来があるから 火の用心」

令和6年11月9日(土)から11月15日(金)まで、全国一斉に「秋季火災予防運動」が実施されました。当協会の会員事業所では、予防規程等に基づく自主消防訓練の実施及び危険物取扱設備等の点検等を実施しました。

会員事業所の秋季火災予防運動中の取り組みのご紹介

● 社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院 様

《火災予防啓蒙活動》

院内放送にて全国統一防火標語の周知及び火災予防の呼びかけを実施。

《防災訓練》

消防局に協力を依頼し、地震体験車を用いて震度5～7の地震を体験。

《防火・防災クラブと協力して街頭広報活動》

市内5か所(大矢部、岩戸、久里浜、衣笠、長井)で広報活動を実施。

《グループ内で発生した火災事例の共有》

コンセント周りの清掃・点検・タコ足配線の注意喚起



総合病院 衣笠病院

《 防 災 講 演 会 》

会場：セントラルホテル

令和7年2月6日(木)、「令和6年度防災講演会」を開催しました。

講師に、山本 豊 様をお招きし、『今後、より求められる「地震災害等への備え」を考える』をテーマに、ご講演いただきました。会場聴講及びオンライン視聴により、57名の皆様にご参加いただきました。



「今後、より求められる
「地震災害等への備え」を考える」

(公財)東京防災救急協会 山本 豊

手記に学ぶ関東大震災



「手記に学ぶ関東大震災、ノブさんからのメッセージ」は、映文連アワード2023で、「文部科学大臣賞」を受賞しました。東京防災救急協会HPで公開中。(19分)

防災講演会講義資料

《 春季火災予防運動 》

2024年度全国統一防火標語「守りたい 未来があるから 火の用心」

令和7年3月1日(土)から3月7日(金)まで、全国一斉に「春季火災予防運動」が実施されました。

令和7年3月2日(日)、コースカバイサイドストアーズにおいて、横須賀市消防局予防課が「消防広場」を開催しました。当協会では、防火・防災広報の一環として「子供向けノベルティグッズ」の配布を行いました。



《 令和7年消防関係表彰式 》

令和7年3月15日(土)、横須賀市役所において、令和7年消防関係表彰式が開催されました。当協会の皆様が次のとおり表彰されました。

◇横須賀市長表彰

●優良危険物取扱者

- ・東邦化学工業株式会社 追浜工場 佐藤 たつる 様 (北ブロック)
- ・日産自動車株式会社 追浜工場 亀田 誠一 様 (北ブロック)
- ・一般財団法人電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部
本間 宏也 様 (南ブロック)

●優良防火管理事業所

- ・東芝ライテック株式会社 横須賀事業所 様 (北ブロック)



○写真左から

- ・東邦化学工業株式会社 追浜工場 佐藤 たつる 様
- ・一般財団法人電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 本間 宏也 様
- ・横須賀危険物安全協会 大庭会長
- ・日産自動車株式会社 追浜工場 亀田 誠一 様
- ・東芝ライテック株式会社 横須賀事業所 平井 康博 様

協会員だより



株式会社バンテックセントラル追浜営業所
所長 北川 和也

春情のみぎり、協会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社は、1954年に日産自動車株式会社の物流子会社、横浜輸送株式会社として設立しました。その後、バンテックへと名前を変え、2011年にロジスティードグループに入りましたが、半世紀以上にわたって自動車部品物流の分野で培った技術と知識を活かし、グローバルにモノづくりの現場を支えてまいりました。

中でも当事業所は、日産自動車 追浜工場様に近接している土地柄を活かし、「門前倉庫」として日々その生産を支えております。

一方で、社会インフラとして、人々の生活を支える物流ですが、ひとたび事故や災害に見舞われるとその影響も計り知れません。そのため、当社としても「安全絶対」を掲げ、引き続き防火・防災に関する取組み及び、社員一人ひとりの意識向上に努めてまいります。

今後とも、消防関係部署ならびに協会員の皆様にはご指導賜りますようお願い申し上げます。



追浜営業所風景



足漕ぎポンプによる油種汲み上げ訓練

協会員だより



東洋観光株式会社
取締役社長 小堀 朋繁

春分の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社は 1953 年に設立され、横須賀および横浜で開設した営業所を拠点に、貸切バス事業を中心とし営業を開始いたしました。

その営業区域は、横須賀・横浜・三浦・鎌倉をはじめ神奈川県全域に亘り、ご利用されるお客様に安全で快適な観光旅行をご提供させていただいております。

また、1980 年には、特定旅客自動車運送事業の認可を受け、現在では、横浜市および横須賀市等で設立されている 19 校の特別支援学校や地域療育センターにおける輸送を請け負うとともに、3 か所の企業様の従業員輸送を実施しております。

輸送の拠点は、横須賀および横浜の営業所となっておりますが、横須賀営業所には給油所が設けてあることから、消防署をはじめ関係各所に危険物についての各種届出を提出し、給油時の取り扱いについては十分な教育を実施いたしました。

また、横須賀営業所は海沿い(久里浜海岸)に位置しているため、2019 年 10 月に台風 19 号の直撃を受け強風ならびに高潮による被害(窓枠損傷による雨漏り・車庫内への砂流入)を受けたことから、高潮被害防止のための防潮板を設置するとともに、所属する従業員には避難経路・場所の周知を定期的に実施しているところです。

今後も、ご利用いただくお客様のために安全安心輸送を徹底するばかりではなく、異常気象等の災害発生時における従業員の安全確保を念頭に置き、健全な事業環境を構築してまいりますので、消防署関係者ならびに協会員の皆様のご協力・ご指導を賜りたくよろしくお願い申し上げます。



横須賀営業所風景

岡 副 会 長 ご 永 眠

当協会副会長の 岡 昌憲 氏が去る令和7年1月28日（火）にご永眠されました。
ここに謹んで深く哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。



【故 岡 副会長のご略歴】

平成元年	南支部幹事	着任
平成10年	協会幹事（南支部副支部長）	着任
平成12年	副会長（南支部長）	着任
平成29年	協会長（南ブロック長兼務）	着任
平成30年	副会長（南ブロック長）	着任

住宅用火災警報器は、 ⑩年を目安に交換を おすすめします！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や
電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。
10年を目安に交換しましょう。



【設置時期を調べるには】

火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、
または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

出典：一般社団法人 日本火災報知機工業会

発行日 令和7年3月吉日
発行者 横須賀危険物安全協会
会長 大庭 大
〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
電話 046-821-6469



横須賀危険物安全協会HP